

謹賀新年



兵庫工業会  
NEWS

平成30年1月1日

発行／公益社団法人 兵庫工業会

No.283



# 2018年の新年を迎えて



皆さん、新年あけましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと、まず政治面では選挙の年でありました。「まさか」が現実となったトランプ大統領の登場以降、フランス、ドイツ、英国、そして日本で国政選挙で、いわゆるポピュリズムが大きな話題を提供しました。ただ、各国での選挙結果をみると、何となく一定の歯止めがかかり、常識派が踏ん張ったのかな、との思いでいます。また、北朝鮮の核・ミサイル問題、続発するテロ活動も大きな不安材料です。

経済面では、米国のTPP離脱宣言以降の自由貿易協定協議の停滞、中国の金の力に任せた一帯一路戦略の拡大など不安材料が出る一方で、日銀の歴史的金融緩和と国債発行策の継続により、円安、株高が続き、日本の上場企業の決算は史上最高益を更新したとのこと。ただ、好感感が一般庶民にまで実感としてはとどいておらず、消費力、購買力はいわゆるインバウンド頼りの面があり、このままでは、史上最大の借金国という将来不安は消えません。ポピュリズムに流されない政治の強い指導力が問われているように思います。

産業面では、AI、IoTがますます浸透し、自動運転、家電の遠隔操作等々が大きく取り上げられており、電子制御、通信技術の進歩が一層進んでいくでしょう。ただ、iPS細胞の生みの親である山中先生もおっしゃっていますが、「今すぐにiPSによる人工神経や人工心臓が生まれて再生医療が実用化されるわけではなく、科学技術の進歩は一步一步実証を重ねていく地道なもの」、と言うのが真実だと思います。過去いろんなアンケートで何十年後の世界はどうなっているかと言う予測が多数発表されていましたが、それによると2020年の今頃人類は、月はおろか火星で生活していて、鉄腕アトムが活躍しているはずですが、実際はそうはなっておりません。

また、去年は、製造業における品質保証体制の欠陥が大きくクローズアップされました。原因、対策等について、推定でお話するのは控えさせていただきますが、当該各社から正式な調査結果の発表が出ましたら、会員企業各社におかれましては他山の石として品質保証体制の見直し強化に役立てて頂きたいと思っております。

このような状況下で、工業会として「会員企業により良いサービス」を提供すべく、現在、次年度活動計画を策定中です。人材育成のための各種教育、研修、セミナー、研究会のより一層の充実や、会員相互の情報交換、交流に注力する基本方針は変わりませんが、下記2項目についての更なる充実を検討しています。

1点目は、県や市と連携して、学生と県内企業のお見合いの場の提供事業があります。昨年度は、従来からやっていた神戸高専の学生さんの企業見学会に加えて、県立大学、神戸大学の学生さんの県内企業見学会や課題解決活動を実施いたしました。次年度はこれらに加えて“首都圏学生の市内・近郊企業交流”（神戸市）を予定しています。

2点目は地方の会員交流の場となる地区別情報交換会の更なる展開です。これまでに淡路、中播磨、北播磨、但馬の4地区で開催しました。これまでは会費を納めているだけだった、といった会員企業も参加いただけましたし、非会員企業も各地区で数社参加いただき、活動内容への理解を深めて頂いたのは有意義だったと考えております。私個人にとっても、各地区特有の課題も認識でき、あの場で参加各社からいただいた貴重なご意見は来年度以降の活動に反映させていただきま。次年度はこれまで未開催の地区や2回目の開催の要望の強い地区での開催を検討してまいります。

年明け後も、論文コンクールの審査会、2月の合同委員会等々の活動が予定されており、次年度の活動計画の策定などにつき、工業会の運営方針である「ともに拓く工業会」を念頭に、皆さんの積極的なご参加と、建設的なご発言を宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健康と、会員企業の皆様のご発展を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人 兵庫工業会

会長 **大西 功一**

(株式会社 神戸製鋼所 顧問)

# 新年のご挨拶

## 副会長 村元 四郎

(グローバル化推進委員会 委員長)



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、ものづくり企業を取り巻く現状として人手不足がクローズアップされる中、働き方改革等、これからのものづくり企業の在り方を熟慮する契機の年となったと思います。

グローバル化推進事業においても、昨年には、今後避けては通れない外国人就労に係る問題に対して、将来中小企業が海外人材を現地で獲得することを視野に、現地教育機関を訪ね、学生との交流などを9月のベトナムミッション、11月のインドネシアミッションの中で実施いたしました。

特に日本語を履修している学生は日本での就労に対して意欲的で、次年度についても積極的に実施していきたいと考えています。

同時に取組んだ現地商談会についても、新たな顧客開拓などに成果を挙げています。参加企業にニーズがある限り、行政のご支援をいただきながら、継続していきたいと考えています。

会員企業各位におかれましては、本年も積極的にグローバル化推進事業にご参加いただきますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 副会長 金井 宏彰

(産業・技術振興委員会 委員長)



新年あけましておめでとうございます。

2017年は、実感の薄い成長率の低い「ぬるま湯」景気ではありますが、経済成長も戦後2番目に長い「いざなぎ景気」(57か月連続)を抜き、27年ぶりの株高も記録しました。世界経済の回復による外需に支えられ、脱デフレの兆しも見え始めました。一方で人口減少、人手不足という大きな課題もあり、国際競争力を高めるために、さらに生産性向上、人材育成を進めなくてはなりません。

そんなミッションの下、2018年度、担当の「産業技術振興委員会」では、前回のIoT関連でのドイツに引き続き欧州(特に北欧)への海外視察を企画しています。昨年の夏のビッグイベント分科会でもテーマに挙げた「ブランド力」の実践や先進的IoT等、一人当たりの高いGDPや高い労働生産性を誇る北欧で今後必要になる日本の社会構造を変えるシステム(新たなパラダイムシフト)を探しに行く旅を計画したいと思っています。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 副会長 馬場 宏之

(会員交流委員会 委員長)



新年あけましておめでとうございます。昨年も皆様方のご協力で会員交流委員会の各活動が活発に行われましたこと、厚く御礼申し上げます。昨年は新しい試みとして

地区別会員情報交換会を開催し、会員の皆様との直接の対話の場を設け、情報交換し、地域会員へのサービス向上や非会員の地域企業への入会勧誘など、淡路、中播磨、北播磨、但馬の4地区で実施いたしました。今まで気づかなかったことや地区特有の悩みや問題点、当会の活動状況など、それぞれが理解するようになり、かなりの成果があったと感じています。今年はさらに東播磨、阪神、丹波、西播磨地区でも開催を予定しています。これらの活動を機にさらに当会活動への積極的な参加や入会会員の増加につながることを期待しています。これからも新しい企画も取り入れながら会員の皆様の活性化に繋がる活動を実施していきたいと思っておりますので、引き続きのご支援をお願いし、新年の挨拶とさせていただきます。

## 副会長 竹田 佑一

(人材育成委員会 委員長)



新年あけましておめでとうございます。旧年中は多くの方にお世話になり、又、各事業にご参加頂き、本当に有難うございました。

昨年は北朝鮮のミサイル発射やネットを使った犯罪事件等、世間を騒がす事象はあったものの、経済面では景気も引き続き回復基調にあり、各社の数字も概ね好調と聞いています。ただ、人手不足の問題は相変わらず深刻で、今後も限られた人的資源を有効に活かす事は必須で、当委員会の役割は大きいと認識しています。

昨年を振り返ってみますと、参加される方が限られた会社に限定されてしまったり、遠方の方が参加しにくかったり、課題も見えてきております。もう少し色々な会社からご参加して頂きたいですし、参加者数も増えればと思っています。特に若い方の育成が特に重要と考えております。ちなみに、2016年に創業100年を迎えた企業は3万弱で、全体の2.2%と聞いています。長寿企業を含めて中小企業では経営者が高齢化し、後継者不在が大きな問題になっています。そんなところも少し解消できるお手伝いが出来れば幸いです。今年もどうぞよろしくお願い致します。

# 未来への扉を開く



新年あけましておめでとうございます。

兵庫県政150周年、2018年の幕が開きました。1868年、後に近代日本の発展を牽引する神戸港の開港に続いて兵庫県が発足し、150年となります。

今年は、本県の行財政構造改革の目標年でもあります。阪神・淡路大震災や経済不況で危機に陥った財政の立て直しに着手して10年。最後の仕上げの時が来ました。

この大きな節目を新しい兵庫づくりへの転換点にしなければなりません。

これまでの150年は成長の時代でした。これからは成熟の時代です。人口は50年以上、100年近くは減少します。経済も右肩上がりの拡大は見込めません。一人ひとりが夢の実現や豊かな時間の過ごし方を今以上に求める時代になるはずです。

今後も活力に満ちた兵庫であり続けるため、人口減少、少子高齢化に適応しながら、新たな価値観や県民が求める多様な生き方、働き方に対応できる地域を創っていく。2018年、そのための新たな挑戦を始めます。

第一に、未来への道筋を描く。兵庫の進むべき方向を県民と共有するため、10年後のめざす姿と、持続可能な県政運営の枠組みを示します。

第二に、少子高齢化への対応。安心して子どもを産み育てられる社会づくり、誰もが生きがいを持って長寿を全うできる社会づくりを進めます。

第三に、次代を担う人づくり。人工知能に置き換えられない創造力や感性を伸ばす教育に力を入れます。大人の学び直しや柔軟な働き方ができる環境も整えます。

第四に、元気な地域づくり。次世代産業の育成、農林水産業の基幹産業化、国内外との交流や芸術文化・スポーツによる賑わいの創出に取り組みます。

第五に、社会基盤の充実。活発な社会経済活動の基礎になる高速道路などの整備を進め、近い将来起こるとされる巨大災害への備えにも万全を期します。

ふるさとを愛する県民の皆様と共に兵庫県政150年を機に新しい地域づくりのスタートを切る。さあ、力を合わせて未来への扉を開きましょう。

兵庫県 150年迎え 新しいふるさとづくり 持続目指さん

兵庫県知事

井戸敏三

# 新年に寄せて



あけましておめでとうございます。

新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年秋の市長選挙におきまして、市民の皆様からご信任を賜り、2期目の市政を担わせていただくこととなりました。私に課せられた責任の重さを常に胸に抱きながら、皆様の負託に応えるべく、職責を全うしてまいります。

少子・超高齢化が進み、本格的な人口減少社会を迎えた今日、皆様がいつまでも安心して暮らすことができる神戸を築くためには、地域経済の担い手となる若者たちに選ばれる魅力的な「まち」、世代を問わず、どなたにとっても暮らしやすい「まち」となることが重要です。

このため、市内学生をはじめとする若年者の市内企業への理解を深め、市内就職を促進するとともに、理系人材の確保、留学生を含めた外国人材の獲得支援に取り組むほか、市立高専等における専門人材の育成にも取り組みます。また、地元中小企業の皆様の経営基盤を強化するため、生産性向上や人手不足解消に向けたロボットやAI、IoTの活用、ロボット導入支援にも取り組みます。

さらに、10月に20周年を迎える神戸医療産業都市の成果を幅広く発信し、さらなる企業・学術研究機能の集積に取り組むとともに、成長が見込まれる新産業として、水素サプライチェーンの構築など水素社会の実現に向けた取り組みの支援や、海洋産業クラスターの形成に向けた取り組みを進めます。

兵庫工業会におかれましては、課題解決型アクティブラーニングによる産学連携事業、海外ビジネスミッションや勉強会等による海外進出支援など、様々な取り組みをしていただいております。深く敬意を表しますとともに、これからも地域の産業を支え、雇用の受け皿として重要な役割を果たしておられる兵庫工業会の皆様と力をあわせ、地域経済の発展を目指してまいりたいと存じます。

時代の変化や要請を的確にとらえ、必要な政策に積極果敢に挑戦し、次世代の子供たちに素晴らしい神戸のまちを引き継いでいけるよう全力をつくしてまいりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして、すばらしい年となることを祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

神戸市長 久元喜造

# 謹 賀 新 年

会 副	長 会 長	大 村	西 元	功 四	一 郎	理 事	清 眞	水 下	泰 直	人 忠
〃	〃	金 馬	井 場	宏 宏	彰 之	〃	井 小	上 松	俊 利	也 彦
〃	〃	竹 宮	田 本	佑 一	一 要	〃	番 石	所 田	和 啓	行 史
専 務 理 事	理 事	荒 木	澤 重	俊 重	光 雄	〃	中 近	川 藤	勝 吾	之 輝
常 務 理 事	理 事	小 森	田 旗	文 邦	藏 彦	〃	瀧 高	川 馬	勝 敏	吾 勇
〃	〃	川 西	脇 剛	剛 剛	史 剛	〃	上 中	村 川	勝 裕	敏 子
〃	〃	阿 比 野	上 美	智 一	代 一	〃	安 櫻	藤 井	一 昌	隆 雅
〃	〃	井 大	庫 上	良 佳	昭 郎	〃	櫻 神	門 井	昌 義	登 信
〃	〃	大 井	上 島	孝 康	夫 保	〃	神 淺	井 嶋	次 修	富 郎
〃	〃	大 苗	村 田	武 勝	和 修	〃	豊 黒	田 田	修 和	司 勲
〃	〃	岡 吉	村 橋	勝 啓	彦 啓	〃	深 太	田 倉	康 一	哉 伴
〃	〃	高 中	村 元	悦 眞	一 樹	〃	阿 宮	内 松	一 壽	磨 民
〃	〃	久 木	本 安	眞 真	一 要	〃	矮 降	矢 藤	公 賢	雄 一
〃	〃	松 頃	田 谷	靖 史	安 男	〃	友 小	川 津	千 久	磨 彦
〃	〃	小 上	月 保	明 俊	子 毅	〃	三 戎	井 西	昭 恭	彦 吏
〃	〃	大 富	山 村	明 俊	子 毅	〃	中 池	田 井	康 博	浩 晴
〃	〃	下 今	北 田	直 純	樹 三	監 事	下 山	土 本	純 純	和 子
〃	〃	黒 山	本 本	純 純	三 三	〃	藤 嶋	嶋 嶋	純 純	子 子

〈敬称略〉

2017年はどんな年だったでしょうか。

日本や世界で起こった出来事を振り返ると、ほぼ必ず話題に上るのが、米・トランプ大統領の就任、朝鮮半島の緊張の高まりではないでしょうか。日本で政治と言えば暴言女性議員の話題もありましたが、森友、加計の学園問題には、もやもや感がまだ解消されずに続いています。経済界を見ますと、いざなぎ超えと言われる順調な景気で前向きで明るい話が多く聞かれた気がします。その一方で人手不足、東芝問題、そして対岸の火事と思っていた自動車大手の検査不正から始まる、ものづくり大手の不祥事の連続で2017年の終盤からは、世界に誇るものづくり産業に一抹の不安を2018年に残しています。

地元兵庫、神戸の産業界には大きなうねりが起こった年でもあります。神戸空港・関西国際空港・大阪国際(伊丹)空港、みなと銀行・近畿大阪銀行・関西アーバン銀行の3港と3行の一体運営や統合で次代の体制固めが着々と進んでいます。また、兵庫県知事、神戸市長が再選、地元自治体の安定した強力なバックアップに期待を寄せる皆さんも多いのではないでしょうか。兵庫工業会でも「会員企業により良いサービス」を提供しようと、「ともに拓く兵庫工業会」の基本方針のもと人材育成や情報交換、交流などにさらに力を入れた年でもありました。新しい事業として「地区別会員情報交換会」を立ち上げました。これは地域の要望を踏まえてきめ細かな事業運営を目的に、丹波地区や但馬地区、北播磨地区など兵庫県を8地区に分け、2年間かけて工業会会長ら幹部が訪問、地区の会員企業らと意見交換するというものです。各地区の意見を直接聞き、これからの工業会事業に反映していく取り組みです。2017年は淡路地区、中播磨地区、北播磨地区、但馬地区など4地区で既に開催を終え、「積極的な懇談で貴重な意見がたくさん寄せられた」と上場のスタートを切っています。2018年も皆さんの地区を訪問します。是非ご参加ください。

2018年の干支は、「戊戌(つちのえいぬ)」、60年ぶりの干支です。進化のために捨てる勇気をあらわすそうですが、つまりは変化の年とされています。60年前は現天皇・皇后のご婚約、東京タワーの完成、政権は安倍首相の祖父の岸内閣でした。いくらでも関連づけてしまいそうですが、2018年も積極果敢に立ち向かいましょう。

2017年も最終盤に近づいた12月6日に神戸ポートピアホテルで「平成29年度会員交流懇親会」が盛大に開かれました。兵庫工業会の会員の皆さん、また、工業会に関わりのある産・官・学・金の関係者ら約180人が集まりました。

### 盛り上がった体験型イベント

忘年パーティーは恒例の二部構成です。午後4時30分から始まった第一部は物産展と体験型イベント。会場に入るとまず目に入ったのが会員企業らが出展する物産展です。コーヒーやお菓子、ゴルフ用品など出展社は自慢の商品を紹介、お土産にとたくさんの袋を抱えている人もいました。そして体験型イベントのパターゴルフ、きき酒、今年初お目見えの歩行計測です。人気のパターゴルフ(住友ゴム工業が協賛)は3球トライしてカップインした分だけボールがプレゼントされるとあって、皆さん真剣な面持ち。思わずガッツポーズをとるチャレンジャーもたくさん見かけました。種類を当てるきき酒は清酒



パターゴルフ



歩行計測



きき酒

(白鶴酒造が協賛)とワイン(メルシャンが協賛)で行われました。多くの種類の酒を試すため、「忘年パーティー本番前にたくさん頂きました」と赤い顔した強者の多かったこと。そして今回初めて行われたのが歩行計測(アシックスが協賛)です。カメラの前を歩くだけで、歩行能力が何歳に相当するかという歩行年齢を計測します。歩く姿勢や速さ、バランスなどの計測で、正しい歩き方の留意点などを指導します。体験する順番を間違えると大変で、「来年は歩行計測とバナーゴルフしてから、きき酒をしないと」と、会場は始終、歓声と和やかなムードに包まれていました。

## 忘年パーティー



大西会長挨拶

午後5時30分、会場を移してメインイベントの忘年パーティーが始まりました。冒頭、兵庫工業会の大西功一会長が挨拶。“まさか”が現実となったトランプ大統領、中国の一帶一路戦略への懸念、AIやIoTの浸透、製造業の品質保証体制の欠陥など2017年に話題になった政治経済の課題や話題を振り返ったうえで、工業会活動を紹介しました。「2017年度の活動は計画通り進捗しており、トピックスを二つ紹介します。ひとつは兵庫県や神戸市と連携して進めている、学生と県内企業のお見合いの場提供事業です。これまでの神戸高専の学生さんの企業見学会を、兵庫県立大学や神戸大学に広げ、課題解決活動を実施しました。学生さんの県内企業の認知は広がりましたが、もっと多くに参加してもらうために一

工夫が必要というのが実感です。もうひとつは神戸地区開催が多い会員交流会の他地区での開催です。既に淡路、中播磨、北播磨、但馬の4地区で開催しました。会員はもちろん非会員企業にも参加いただき、今後の工業会活動に反映させたいと思います。2018年早々には活動計画の策定などが始まりますが、運営方針の『ともに拓く工業会』を念頭に、積極的な参加、建設的な発言をお願いします。本日の忘年会は大いにお楽しみいただき、来年も頑張りましょう」とスピーチしました。

引き続き、来賓を代表して兵庫県産業労働部の片山安孝部長が挨拶にたち、「兵庫県にはいい会社がたくさんあるが、今の問題は兵庫の高校や大学を卒業しても地元企業に就職する若者が少ない。また、中小企業を中心にした事業承継問題など人に関する困りごとが多い。県として最先端の産業分野支援はもとより、兵庫県のPRで人の問題にも積極的に取り組みたい」と語りました。



来賓ご挨拶

## 新入会員紹介、鏡開き

兵庫工業会では2016年12月から2017年11月までに5社が新たに入会しました。この中から当日参加の2社からアグロワークス、ダイエット経営の2人が壇上で紹介されました。



新入会員紹介



鏡開き

次に行われたのが片山部長、大西会長のほか、村元副会長、金井副会長、馬場副会長、竹田副会長の6人で行われた鏡開きです。おそろいのはっぴを着込み、白鶴酒造から提供された酒樽を囲んで、「よいしょ」の声にあわせて見事に鏡が開かれました。乾杯の挨拶は馬場副会長で、「今年も会員交流会がにぎにぎしく始まります。ますますの発展を祈念して、乾杯!」と音頭を取り、宴が始まりました。



乾杯

## 福引き大会に一喜一憂

乾杯が終わり、いよいよ交流会のスタートです。会場ではテーブルを囲んで、いくつもの歓談の輪が広がり始めました。赤いタスキの参加者が混じっていましたが、実は会員交流委員会のメンバーで盛り上げ役を務めています。ほどなくお待ちかねの福引き大会がスタート。商品提供企業の代表がプレゼンターとなって壇上に上がり、当選番号が大スクリーンに映し出されました。この日用意された商品は109点。次々に選ばれる当選者の歓声があちこちで響き渡り、一方では悔しがらる姿もあり、皆が一喜一憂する時間です。

前半は会員企業賞です。列記しますと、川崎重工業「カワサキオリジナルセット」6本、アベックス西日本「ココアセット」5本、兵神機械工業「水耕野菜、今治タオルセット」10本、キリンビバレッジバリューバンダー「マモルチカラノサプリメント」5ケース、関西キリンビバレッジサービス「キリンファイア挽きたて微糖」5ケース、神戸風月堂「ゴルフセット」12本、ヒガシマル醤油「龍野乃刻」10本、シマブンコーポレーション・アイランドフューチャーコーポレーション「黒豆煮豆・栗甘露煮セット」5本、阿比野建設「ギフトセレクション券、ビワミンセット」6本、シスメックス「日本酒 福寿」6本、キリン・ディアジオ「ジョニーウォーカー」2本、くすのき会「ANA CROWNE PLAZA KOBE食事券」1本、くすのき会「高級ハムセット」1本で、次々の満面の笑みに変わっていきました。



歓喜の中各賞に当選して賞品を受け取る皆様

そして注目のきき酒の結果発表です。日本酒部門は全問(5問)正解が2人出ました。いぶき・満名真由美さんと兵庫県中小企業団体中央会・深田修司さんです。白鶴酒造より「純米大吟醸 白鶴錦」が贈られました。これまで全問正解者のなかったワイン部門では、一挙8人が全問正解を果たしました。澤田組・藤川智崇さん、タクミナ・高馬勇さん、関西電力・竹岡新二さん、阿比野建設・阿比野剛さん、上月ウディックス・上月靖史さん、第一熱研・中川啓之さん、滝川工業・瀧川松平さん、兵庫県立大学・上田澄廣さんで、メルシャンより「シャトーメルシャン山梨甲州2015」が贈られました。



きき酒会発表(ワイン)

さて、福引き後半です。ホテル宿泊券やおせち料理などさらに豪華な賞品がめじろ押しです。ここからは当選者を氏名で紹介します。

まずは上月ウディックス特製の「デスク」はシミズテックの清水泰司さんが当選しました。フルヤ工業の「カシオ G-SHOCK」は三輪運輸工業の大西正章さんとトーホーの上村勝敏さんが当たりを引き寄せました。引き続き夢舞台、ホテルオークラ神戸、神戸ポートピアホテルの「ペア宿泊券」が2本づつ。夢舞台は兵庫県産業労働部の竹村英樹さんとホテルオークラ神戸の楯川賢一さん、ホテルオークラ神戸はトーホーの上村秀輝さんと兵庫県産業労働部の片山安孝さん、神戸ポートピアホテルは阿比野建設の阿比野剛さんと兵庫県産業労働部の淵上茂也さんが受け取られました。兵庫県産業労働部は3人連続の当選です。日本旅行の「旅行券」はレブンインターナショナルの板倉剛さんが、近畿日本ツーリストの「琵琶湖グランドホテルペア宿泊券」は川崎重工業の松村克彦さんが当選しました。

福引きも後半になると都合で退出される人が出てきますが、そんな人に限って豪華賞品が当たることも。「再抽選、再抽選」のかけ声が大きくなってきました。当選し名前を呼ばれた時に、その場に居ない場合は再抽選というルールがあるからです。

いよいよ福引きも大詰めです。まずは専務理事賞の「カタログギフト」(兵庫工業会寄贈)で、当選は兵庫県立大学の太田勲さん、金井重要工業の安達隆久さん、大和ハウス工業の秋山英一さん、ヒガシマル醤油の浅井昌信さんです。続いて副会長賞です。まずは「おせち料理」(竹田副会長寄贈)で、当選は関西電力の竹岡新二さん、シマブンコーポレーションの江崎透さん。「ダンロップスポーツゴルフバッグ」(馬場副会長寄贈)は美岡工業の吉永正直さん、「古泉閣(有馬温泉)宿泊券」(金井副会長寄贈)は大和ハウス工業の永瀬俊哉さん、「ギフトセレクション」(村元副会長寄贈)は関西キリンビバレッジサービスの古閑照雄さんが当たりました。いよいよ最後の大西会長賞の豪華な「おせち料理券」です。最後に福をつかんだのは明興産業の下土井康晴さんでした。「こんな素晴らしい福を最後に引き当てた。来年も幸運を引き寄せたい」とうれしさ一杯に語りました。

福引きが終わり、当選されなかった人が20人ばかり残りました。ここで再度会場を沸かせたのが、文字通り残り福、特別賞です。プロゴルファー古閑美保さんのサイン入りゴルフバッグという粋なサプライズです。大西会長との熾烈なじゃんけん合戦の末、見事残り福を獲得したのが金井重要工業の金井宏輔さんです。「ゴルフを始めたばかりで、これですます練習に熱が入る」とお約束通りのコメントをいただきました。



会長賞品贈呈



特別賞じゃんけん対決



特別賞品贈呈

中締めで会員交流委員会の神門登副委員長は「工業会は多くの事業を手がけているが、今年はさらに新しい事業に挑戦している。来年も積極的に挑戦していこう」と呼びかけ、お開きとなりました。

来年の忘年パーティーも明るく楽しく開かれますよう祈念して、今回の報告を終わらせていただきます。

(日刊工業新聞社神戸総局長 平野健)



中締め挨拶

# 兵庫工業会但馬地区情報交換会開催について

兵庫工業会は、地域の要望を踏まえた、きめ細かい事業運営を行うために、平成29年度の新たな“会員交流事業”として、兵庫県下を8つに分け、地区ごとに会員の皆様にお集まりいただいて兵庫工業会役員(会長・副会長・理事)や行政の方々との意見交換をしていただく、「地区別情報交換会」を開催することになりました。今回は今年度最後の但馬地区についてご報告いたします。

## 1. 但馬地区情報交換会

(1)開催日 平成29年11月22日(水)

(2)開催場所 西村屋ホテル招月庭

(3)参加者

- ①但馬地区会員企業 6名
- ②但馬地区企業 10名
- ③その他会員企業 4名
- ④行政 兵庫県3名、但馬県民局2名  
豊岡市3名
- ⑤兵庫工業会正副会長 大西会長、馬場副会長

以上の方々及び事務局を含め計38名の方々にご参加いただきました。

(4)意見交換会

意見交換会の中では、会員交流委員会の神門副委員長の司会のもと、主に以下のことが話題になりました。

- ①人材育成について、社内では教育に限界があるため、技術・新入社員研修をはじめ多岐にわたって工業会を利用している。
- ②企業OB(技術者)の再活用(課題解決支援事業)をお聞きしているため、その事業を活用したい。
- ③人材採用が困難でハローワークにも3年ほど応募をかけているが、現状0名である。
- ④地理的問題で工業会の事業に参加できないのが実情だと感じるため、但馬での開催を要望したい。
- ⑤担当者レベルの情報交換会があまりないので、他社との同じ部門同士での情報交換会を実施していただきたい。
- ⑥社内人材が高齢化しており、若手技術者確保と育成が課題となっている。

今後の兵庫工業会の活動に参考になるご意見や兵庫県行政へのフィードバックの必要性があるご意見等、多数のご意見をいただきました。

(5)交流会

交流会では、これまでの会場と違った西村屋ホテル招月庭のお座敷にテーブルを配置した中で、おいしい料理に舌鼓を打ちながら、和やかな雰囲気のもと、更に皆様活発に意見交換いただきました。途中豊岡市の前野副市長や、地元但馬出身の兵庫県産業労働部の竹村局長にご挨拶いただいたりしながら、最後は地元(株)東豊精工の社長で、豊岡商工会議所の会頭でもある岡本様よりご挨拶いただき、盛会の内に終了いたしました。多数の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。



但馬地区意見交換会①



但馬地区意見交換会②



但馬地区交流会の様子

# オーストラリア総領事館との交流会

兵庫工業会の会員交流事業の一環として、オーストラリア総領事館よりデイビッド ローソン総領事をお招きして、「外国公館との交流会」を、会員企業18名ほか総計23名にて、平成29年11月7日(火)に開催いたしました。

交流会前半の講演では、デイビッド ローソン総領事より「オーストラリアの国情」について、お話いただき、政治情勢や経済情勢などの最新事情を聴かせていただきました。兵庫県産業労働部 水口国際局長より兵庫県の姉妹・友好提携についてお話をいただきました。ご講演後、お礼を兼ねて会員交流委員会 馬場委員長よりご挨拶をいただきました。

交流会後半の懇親会では、参加者を代表して番所委員より乾杯のご発声を、中締めは高橋委員よりいただきました。デイビッド ローソン総領事との質疑応答や、オーストラリアを話題とした会員同士の情報交換等、参加された皆様の懇親を深めることができ、「外国公館との交流会」事業の会員交流に果たす役割の重要性を改めて感じました。

最後になりますが、デイビッド ローソン総領事には、公務ご多忙にも係らずご出席いただきましたこと、本誌上をもって、改めて、お礼申し上げます。



オーストラリアの国情紹介

## <伊豆野会員交流委員の感想>

総領事は日本語が堪能で、ご自分の生き立ちから家族の話などを交え、国情、日本との現状などを楽しくお話しをいただきました。

その中でも、学生の頃、交換留学で、日本に1年間居られたこと、社会人になってからも日本で家を輸入して、建設し販売していたこと、各地に居を移し住んでいたことなどをお聞きし、堪能な日本語、日本人より日本人らしいところも、理解することができました。

また、国情の面では、石炭、液化天然ガス、鉄鉱石などの資源関係、畜産、観光に加え、ニュービジネスを目指す小規模の会社が増しており、その中から将来有望なビジネスが出てくると信じているとの言葉もありました。交流会では、兵庫県から水口国際局長にもご参加いただき、兵庫県とオーストラリアとの友好提携、経済交流、教育交流等につきご説明を頂き、様々なお付き合いがあることに興味をそそられました。

その後、会食になり、オーストラリア料理店の料理店「THE ROCK」で、オージービーフ、ワニのから揚げなど、2度観光で、シドニー、ゴールドコースト、ケアンズを訪問した時を思い出し、楽しい、有意義な時間を過ごすことができました。

今後も、他国との交流会に参加して見分を広める機会として、「外国公館との交流会」に兵庫工業会の会員企業の方々が積極的に参加いただき、交流できることを楽しみにしております。

## <山下会員交流委員の感想>

講演内容は、オーストラリアと日本との貿易経済関係や国際交流についてがメインテーマでした。

オーストラリアの貿易相手国として、日本は第2位とのこと。改めて両国の経済に及ぼす影響について再認識いたしました。実質GDPの産業別構成の7割以上が第3次産業であることもオーストラリアの特徴だと感じています。日本からの留学生もかなり受け入れて国際交流に積極的に取り組まれているようです。

私たちにとってビジネスチャンスの可能性も広がっていければと望んでおります。

2020年パラリンピックの事前キャンプ地は神戸市に決定しております。益々、両国の交流も深まっていくことを期待したいと思います。

# 兵庫バイオインダストリー研究会 ヤンマー(株)バイオイノベーションセンター倉敷ラボ 見学のご報告

平成29年11月10日(金)、兵庫バイオインダストリー研究会は、岡山県倉敷市にあるヤンマー(株)バイオイノベーションセンター倉敷ラボの見学会を行いました。

参加者は21名で、神戸駅から出発し、姫路駅を經由して現地に向かいました。

バイオイノベーションセンター倉敷ラボは平成28年8月に開設されたばかりの施設で、ヤンマー(株)の農業系研究所となっており、研究棟、試験棟、実証棟から構成されています。

研究棟は高度に制御された環境の下で、植物栽培などを通じて、環境と植物の詳細な研究を、試験棟ではハウス内のデータに基づいた理想的な栽培環境の提案を、実証棟では研究棟、試験棟で得られたデータに基づき、栽培効率の向上と低コスト化の両立を目指しています。



バイオイノベーションセンター倉敷ラボ全景(模型)



倉敷ラボ研究棟玄関前

研究棟、試験棟、実証棟の順に見学をしましたが、外国製の設備を導入し、育成の開発が主で、トマトとイチゴの栽培を行っていました。

見学中の質問については担当者の方が、見学終了後は研究所の小西所長も交えて意見交換を行い、参加者の皆様から出された多くの専門的な質問に、一つ一つ丁寧に説明して頂きました。

今回の見学を機に、兵庫バイオインダストリー研究会と良い関係が構築できればと思います。



研究棟内で説明を聞く参加者の皆さん



見学終了後の意見交換

## 兵庫バイオインダストリー研究会の行事予定

### 第97回定例会

1. 日時 平成30年2月27日(火) 15:00~
2. 場所 神戸大学農学部

兵庫バイオインダストリー研究会では会員募集をしています(事務局 ☎078-361-5667)

# 兵庫工業会しんゆう会・女性会 (win-win) 合同見学会ご報告

兵庫工業会のしんゆう会と女性会 (win-win) は、10月13日(金)に参加者17名を得て、安達くみひも館、京セラ(株)、(株)京都レマンの見学会を実施いたしました。

安達くみひも館では、くみひも体験として、それぞれお好みの色使いでキーホルダーを作成し、その後、資料展示館を見学させて頂きました。京セラ(株)では、会社概要をお聞きし、京セラ(株)ファインセラミックス館を見学させて頂きました。(株)京都レマンでは、アイスクリームやシャーベットの製造工場を見学させて頂きました。ここでは業務用として本格的なアイスデザートを製造、販売をされています。また、工場の敷地内ではお菓子のアウトレットのお店があり、ご近所の方やご遠方からも買いにこられてました。



くみひも体験

お忙しい中、貴重な時間を頂き、工場見学を快く受け入れていただきました。安達くみひも館、京セラ(株)、(株)京都レマン見学会に関係いただいた皆様には、大変お世話になりました。本紙面をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。

以下に、見学会に参加されたしんゆう会の井澤 達文様と女性会の松山 あつ子様より感想を頂戴いたしました。

## <しんゆう会 井澤会員の感想>

京セラ(株)、(株)京都レマンを見学し、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。

京セラ(株)の稲森和夫名誉顧問は、S28年に入社した碍子の会社から26歳でスピアウトし、新たに28人の会社を立ち上げ大変苦勞して26百万円の売上高から出発されたとお聞きしました。

困ったときも社員全員で乗り越えるという団結精神を会社全体に浸透させられたことが今の京セラ(株)が成長した大きな要因であると知り、稲盛名誉顧問だからこそ日航を立て直し、経営の神様と謳われている事実や歴史の展示品や話に大きな感銘を受けました。

また、老舗(株)京都レマンも、老舗というだけでは生きられない環境下で、それまでのアイスクリーム製造販売から、新たに開発した生果実の皮を器にした新商品を、小売りはせず焼き肉・居酒屋等のチェーン店に卸、販売してヒット商品に成功されたようです。

普段から耳にしていますが、企業は社員の皆さんが主役で全社一体となって前進することが発展につながるということを、この度の見学を通じて、改めて目のあたりにし、奮起しました。

## <女性会 松山会員の感想>

安達くみひも館での見学とくみひも体験、「六盛」での昼食、京セラ(株)での見学、(株)京都レマンでの工場見学と充実した一日を過ごさせていただきました。

私自身、特殊な分野(健康産業)の経営者ゆえもあり、兵庫県を代表する異業種のトップの皆さまの仲間に入れていただき、経営手腕、人材育成などを学ばせていただくために女性会に入会しました。

今回の京セラ(株)見学では、愛社心に溢れたガイドの丁寧な説明を受けながら、創業12年のスピードで一流企業の仲間入りをされた稲盛和夫創始者の限りなきチャレンジ精神と、アメーバ経営をベースに、「人間として正しい考え方を持ち、一生懸命努力すれば必ず夢は実現する!」は、経営者としても、人としても自問自答の機会を与えていただきました。もちろんスケールの違いはありますが……。

日本を代表する会社見学に参加させていただけたのも、女性会の会員であるが故と感謝申し上げます。

これからも素晴らしい出会いを期待しながら、経営と人磨きに努めたいと思っています。

企画して下さった事務局の方々そして、企画運営に携わって下さった皆様に感謝申し上げます。



## 株式会社アグロワークス

所在地：〒653-0044 兵庫県神戸市長田区南駒栄町1-7

T E L : 078-641-7773 F A X : 078-641-7778

U R L : <http://www.key-p.net/>

代表者：代表取締役 安黒 千能

2014年の創業より、「ワークウェアを通じた地域産業、地域社会の活性化に貢献すること」をミッションとしています。

こだわりを持つ職人さんたちに「カッコいいお店」で「カッコいい作業服」を「気持ちよく買ってもらいたい」。そんな創業者の想いを具現化した直営店「KeyPoint (キーポイント)」、関係会社である株式会社ホームセンターアグロによるワークウェア専門店「AgroWork (アグロワーク)」を展開しています。

### オリジナルブランド「FIVES」



FIVES (ファイブス) は職人さんへのリサーチに基づき開発されたブランドです。

リサーチの結果導き出された「動作性」「作業性」「保護性」「快適性」「正装性」という作業服に求められる5要素を満たすことがブランドの原点となっています。

#### FIVE POINTS

1. **動作性**：屈伸作業、上向作業など職人特有動作への配慮。
2. **作業性**：収納力、腕まくり易さなど職人特有作業への配慮。
3. **保護性**：脚立作業、荷運びなど、職人特有負荷への配慮。
4. **快適性**：夏期の速乾性や冷感性、冬期の保温性や防寒性、雨天時の防水性など、過酷な環境への配慮。
5. **正装性**：プロフェッショナル感、清潔感が担保できることへの配慮。

### オリジナルブランド「Dessau」

**D.**

Dessau (デッサウ) は高い成果を出し続ける企業、職人のためのマイスター・ブランドです。

Dessauの存在意義は、マイスターたちの質の高い仕事に相応しいアイデンティティを提供することだと考えています。

このため、既存のワークウェアの機能を向上させながら、多様な世界観・文化・歴史背景をもつスタイルを融合し、新しいワークウェアのカテゴリを構築していくことを目指しています。

Dessauを身にまとった尊敬すべきマイスターたちを通して、職人の社会的地位を高めていく。それが私たちの目指す世界です。



## 平成29年度職域における創意工夫者表彰 表彰式

現場の改善活動などに貢献された方々を顕彰する「職域における創意工夫者表彰式」を12月14日(木)、兵庫県公館にて開催し、兵庫県知事賞90名、兵庫工業会会長賞98名の方々が受賞されました。

厳かな雰囲気の中、それぞれ代表の方に金澤副知事、大西会長より賞状と記念品が手渡され、式後は各所で記念撮影される受賞者が見られました。受賞者の皆様、おめでとうございます。



代表受賞者への兵庫県知事賞授与



大西会長挨拶

## 会員交流懇親会風景



懇親会場



物産展

## イベント情報

月 日	事業名・内容	場 所
2月1日(木)	ものづくり技術懇話会	シーサイドホテル舞子ビラ神戸
2月6日(火)	合同委員会	有馬 古泉閣
2月21日(水)	第2回見学会(産業・技術振興事業)	東芝機械(株)・(株)リコー
3月13日(火)	平成29年度第3回理事会	神戸市内

## 第14回兵庫工業会 ゴルフ大会のご案内

公益社団法人 兵庫工業会の第14回ゴルフ大会を右記の通り開催いたしますので、ご予定の程よろしくお願い申し上げます。

- ☆開催日時 平成30年5月12日(土)(8:30スタート)
- ☆開催場所 美奈木ゴルフ倶楽部 〒673-0755 兵庫県三木市口吉川町大島1187-3
- ☆その他 \*昨年と同じく、女子プロと9ホールをラウンドします!

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人  
兵庫工業会

本 部 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3階  
神戸事務所 TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336 / Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp  
URL http://www.hyogo-ia.or.jp  
姫路事務所 〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3階  
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231